

「はじめての病院見学ならウチで練習を」 採算度外視、まさに学生のことだけを考えた 究極の病院見学5日間(最大)コース。

基本DATA

- 見学日程：月～金の3日～最大5日間
- 対象者：主に4年生（はじめて病院見学をする学生）
- スケジュール：あらかじめ事務担当者と詳しく打ち合わせのうえ決定。
（例：5日間の場合 月～水は臨床検査科で実習、木・金で外来・病棟などを見学）
- 友人と一緒にこの5日間コースに参加した近畿大と広島大の学生さんの様子をレポート！

現在研修医不在の舞鶴共済病院。

レジナビなどの合同説明会で学生と話しているうちに、学生が漠然と抱える「病院見学への不安・不満」を解消してあげたいと考えるようになり、この最大5日間コースを考案。学生が「分かったふり」や「うまく話を合わせる」という行動をとらなくていい見学スタイルを追求したら、こうなりました。

「ウチで研修医になるとか考えなくていいから、まずはおいでよ」

臨床検査科に入り浸る！

最初は誰でも緊張するもの。受け入れる側だって緊張しています。お互いにリラックスして本当の姿が見られるようになるのは3日目以降。また、ポリクリもまだ始まっていない4年生だと、いきなり患者さんの前に出るのはかなりのプレッシャーです。徐々に、緩やかに、実習（見学）に慣れてもらうためにも、まずは最初の3日間、臨床検査科に入り浸っていただきます！



臨床検査技師のレクチャー



臨床検査技師の模範実技



学生同士で採血実習

医師ではなく、臨床検査技師に習うところもポイント！臨床検査技師の方が相手だと、素直に「分からないです」「忘れました」と言える学生さんが多いようです。患者さんがおられない時間帯に実習するので、学生同士リラックスした雰囲気の中で取り組めていました。採血実習だけでなく、さまざまな検査や手技を一から教えてもらえる充実ぶり。この実習のおかげで、それまで苦手だった心電図が得意になった学生さんもいたそうですよ。

事前打ち合わせで学生さんの得手不得手を聞いて、「苦手克服実習」をテーラーメイドすることもできます！（臨床研修センター 南達也氏）

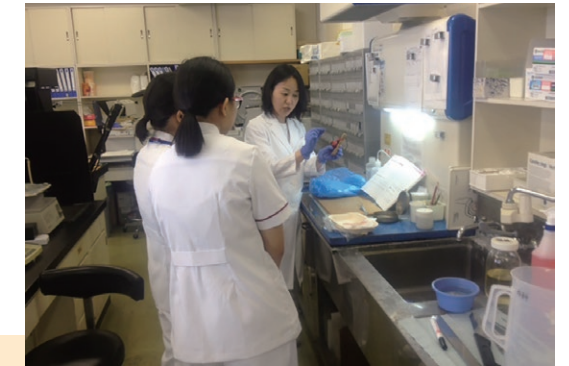


見学中もこまめに打ち合わせします！

気軽に何でも聞いてください！
検査に対して理解を深めていただける嬉しいです。
（舞鶴共済病院 臨床検査技師の皆さんより）



輸血部門では、採血した自分の検体を使って、血液型のクロス検査を実習。大学の講義で習った知識と臨床が結びつく瞬間です。



さらに、病理検査も！苦手な学生が多い病理ですが、こうやって実際に摘出された臓器を使った作業を体験することで、圧倒的に理解が深まります。

日常風景にも慣れる！

見学期間中の専用スペース、臨床研修センター



船の形をした病院外観▶



舞鶴湾を一望する7階の職員食堂。5日間も通うと病院の日常が肌で感じられます！

患者さんの前に出る！

臨床検査科で十分に慣れたら、いよいよ興味のある診療科の病棟や外来の見学がスタート。最初の3日間で指導医とも顔見知りになっているので、緊張せずにスムーズに見学に入れました。臨床研修センターの病院見学担当スタッフが、5日間を通してきちんと見学をバックアップしてくれます！不安なことがあってもすぐに相談できるのが嬉しいですね。体調の変化なども遠慮せずに伝えよう！

都市部から離れた地方の病院で、研修医が不在の年次もあるなど、研修医採用には不利な条件がいくつか揃う舞鶴共済病院。でも、だからこそ、学生さんの気持ちに敏感で、規模が大きくないからこそこういう企画が実現できる良さがある。この5日間の実習（見学）は、1人じゃなくて友だちと複数人で参加してほしいそう。夏休みの旅行感覚で学生が来てしまうのでは？と心配してしまいましたが、それも想定内（！）という懐の深さ。脱帽です。

1人で見学おすすめ度 ★★★☆☆
初めての見学おすすめ度 ★★★★★★★★
気軽に見学できちゃう度 ★★★☆☆

取材後記



舞鶴は軍港の町なので、（私みたいな）船好きにはたまらない環境です。水兵さんにも会える！笑 ちょうど取材した日は「みなと舞鶴ちゃった祭り」があって、港で花火を見ました！病院からも見えるよ。